



# 第4回 ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト 実施報告

日時：令和3年1月23日（土）10:00～16:00  
場所：兵庫県立工業技術センターセミナー室  
受講者：36名

## 10:00-12:00 【発表準備】



<各班にて発表準備>

## 13:00-15:30 【脱炭素社会形成に向けた活動案の発表】

### 1 既存の基盤を活用した環境教育の提案



### 2 自治体の取り組みを住民に伝えたい！



### 3 これからの未来 ～高校生が主体となって取り組む社会～



### 4 ムーブメント案



### 5 社会問題を解決させるビジネスを ～消化夜の現状と私たちの考えるビジネス～



### 6 環境行動の仕掛けづくり



### 7 一般JKが環境問題を わかりやすく解説してみた



<会場の様子>

## 15:30-16:00 【プログラム全体の振り返り】

### <受講生の感想>

- 最も印象に残っているものは松村さんの講義です。「環境問題は敵ではない」という言葉がその中でも深く私の心に刺さっています。敵ではない、ということは環境問題を解決するにあたって、対策案を考えるのにも視野が広がりました。地球温暖化対策は節電や節水をするだけで十分治まるだろうという私の甘い考えが、自ら大きく行動しなければならず、次世代に大きく影響を与えると分かりました。
- 「最初は環境について何も分からなかった」という私たちですが、今回参加させて頂いたプロジェクトのような何かしらの「きっかけ」さえあればここまで成長できることが分かりました。今度は私たちの提案をその「きっかけ」として他者に働きかけていきたいと思うので、プレゼンの形で終わってしまわず実行に移してあげたいと感じました。
- 多角的な視点から講義を聴いて知識を深められ、学校や学年の枠を超えてたくさんの意見に触れられた。特に印象に残ったのは、日本と他国の環境問題に対する考え方の違いです。このプロジェクトに参加するまでは、環境問題について知識も浅かったし、堅苦しかったり負のイメージが強かったけれど、今は環境問題にすごく興味を持つようになったし、未来への希望を感じました。
- 江守さんと小野さんの講演が凄く心に残っています。環境に対してネガティブに考えているのではなく、これからこうすればいいと自分にできる環境問題対策を行動に仕事におこしている姿に、私もこんな人になりたいと強く思われました。

### <講師>※五十音順

- 江守 正多 (国立環境研究所地球環境センター 副センター長)
- 小野 悠希 (株式会社ボーダレス・ジャパン ハチドリ電力運営責任者)
- 菅 範昭 (兵庫県農政環境部環境管理局長)
- 辻本 一好 (神戸新聞 編集委員)
- 松村 亘 (トヨタ自動車株式会社 新事業企画部主幹)

### <コーディネーター>

- 前田 利蔵 (公益財団法人地球環境戦略研究機関関西研究センター 副所長)
- 田中 勇伍 (公益財団法人地球環境戦略研究機関関西研究センター 研究員)

### <協力教員>※五十音順

- 石川 正樹 (兵庫県立神戸商業高等学校)
- 菖池 祐子 (兵庫県立三田祥雲館高等学校)
- 古河 真紀子 (兵庫県立姫路東高等学校)
- 渡辺 伸勝 (兵庫県立国際高等学校)

### <主催等>

- 主催：兵庫県
- 実施：公益財団法人ひょうご環境創造協会
- 協力：公益財団法人地球環境戦略研究機関関西研究センター  
兵庫県教育委員会
- 後援：神戸新聞社  
株式会社ラジオ関西

